

右の如き切實なる希望に對
しては衷心より共鳴し最善
居る

在米同胞の 二世教育觀

熊本海外協会
の方案に就て

(上).....

熊本海外協会では在外同

胞第二世の教育問題に就てこ

熱心に研究をしたがこの

程案を得たので同會委

員は外務省

拓務省及び文

解を求める大使館領事館を通じて在留民、般に周知方取

計ふぐ旨の確約を得た。

在米の同胞へ感謝す

遠く万里の波濤を越えて異

域に渡り困苦と戰ひ脅威に

たへ虐待を忍んで奮闘を續

くこと四十餘年海外發展

の基盤を今日に築いた在米

同胞の偉大なる貢獻に對し

から感謝するものであり

ます。而してその後繼者た

る第二世の教育に關して少

く心に對しては實に同情感

を禁ぜぬものがあります。

第二世を日本教育に

けしめられんとする其の親

本に送つて母國の教育を受

けしめられんとする其の親

に對しては實に同情感

を禁ぜぬものがあります。

第二世を日本教育に

けしめられんとする其の親

本に送つて母國の教育

當局が断平として左翼再建の芽を摘む

「赤」の中心勢力を形成

無政府主義の據頭と並んで

【東京發】演説せる共産黨

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

臺灣の帝國々防擴充 遂に島民大會開催

帝國々防擴島民大會開

現下の防備は稚薄

不拔の國策として、鐵意そ
の使命達成に邁進してゐる
際、その最も要衝としての臺
灣は、南方の護りを負つて、
從つべく重軍の重大が愈々
々加重されてゐるにも拘
らず、依然脅威を感ずるかの如き
狀態にあり此の實際臺灣の軍
力は、最も緊要且急迫
する問題なりとの聲が悠然
として島内各方面の團體並び
に有志が率先、島内に師團
編成を設置すべしとの猛
烈々火を吐く憂國
の辯士に場は渾然として非
常に對應する臺灣の護り
を高唱。緊張と感激の中に
終始し、本問題が如何に
島内一般の人士に熱心に關
心をもたれてゐるかを物語
るに相應しきものがあつた
る所以なり
る官宣す
右決議す
右決議す
現下内外の情勢に鑑み、臺灣
に師團及び鎮守府のひ
設を要望す

不可分關係に基く 日満兩國の體育親善乃至は 精神親善に資せんとする
題目により滿洲國體育聯盟主事田中氏は去る
五月東京に開催された日本出席せる機會に來賓として
までて處にその贊助を得次いで日本體操聯盟
に日本スポーツ泰斗協會の賛同を得た結果愈々これが
實現に積極的に乘出すこと
に決意を固め 日本スポーツ泰斗協會に之が實現方
ツサ仕合會に之が實現方
依頼仕合會は 體育關係
之奉仕合會は 満洲國體育聯盟主事田中氏は去る
方面及び當局に向つてこの運動を續けるところがあつ
たが愈々去る三日泰斗協會の理長金井良太郎氏より左
之實施計畫が満洲國體育聯盟宛附送された 斯くて海を隔てて日滿全國民
が日と時を同じじして高ら
心靈 感應 濟 漢 地域 正
國民の體育親善乃至は 精神親善に資せんとする
題目により滿洲國體育聯盟主事田中氏は去る
五月東京に開催された日本出席せる機會に來賓として
までて處にその贊助を得次いで日本體操聯盟
に日本スポーツ泰斗協會の賛同を得た結果愈々これが
實現に積極的に乘出すこと
に決意を固め 日本スポーツ泰斗協會に之が實現方
ツサ仕合會に之が實現方
依頼仕合會は 體育關係
之奉仕合會は 満洲國體育聯盟主事田中氏は去る
方面及び當局に向つてこの運動を續けるところがあつ
たが愈々去る三日泰斗協會の理長金井良太郎氏より左
之實施計畫が満洲國體育聯盟宛附送された 斯くて海を隔てて日滿全國民
が日と時を同じじして高ら
夕星 晚晴
鎮守の森に響く太鼓の音 後永遠にかはされる得ら
祭を夢にも忘れ得ぬあの
滿親善融和の聲微として今
後永遠にかはされる得ら
計畫書

北滿國境に奮戦する

皇軍將兵慰問文募集

我が社は遠く北滿國境の守りに奮戦する皇軍慰問の主官を以て「將兵慰問文の原稿」を汎く在伯同胞各位から募り、之れを特輯したものを『皇軍將兵慰問號』となし、少くとも二万部一個師團に五千部の宛にて印刷し、我が軍部を通じて北滿における皇軍將兵、油垢に汚れ、洗濯場も戸戸も、に、つらんだ體を

満洲は、もう追々と寒くなります。赤い夕陽が漸く沈めば寒氣いよ／＼厳しく討伐から疲れ歸つた兵の夜半の夢も破られ勝ち「冬季は洗濯も不自由で、枕の翼が油垢に汚れ、洗濯場も戸戸も、に、つらんだ體を

と寒さと不自由の萬難に堪えつゝ苦闘する將兵の唯一の慰安は「手紙を貰ふ事」で、一本の手紙であらゆる身心の勞苦が慰められると云ふことです。
こんな簡單な手軽なことで彼等の勞苦が慰め得られるすれば、誰れでも日本人たる限り、男も女も老人も子供も舉つて手紙を書いて出すことです、わが社は、それを國民當然の義務であると信じますが故に率先して、このことを在伯同胞に對してお勧めし況くその慰問狀を左の規定によりて募集致します、何卒大いに奮つて歎美して書きませう。

募集規定

- 1、原稿は必ず封書とし、封筒の表に『慰問文原稿』の五字を明記すること。
尚『慰問號』は紙質極上純白の紙を使用し適當なる寫眞版數葉を押印す。
- 1、「慰問號」への廣告には相當の制限（タチ臭い廣告や威裁の悪いものは謝絶す）あり、詳細は返信料同封御照會のとおりお知らせします。【上記は北滿國境守りの歌 歌詞は本號にあつ】
- 昭和十一年九月三日

聖市 南米新報社

電話七一一六一四番

Rua Pires da Motta, 381
S. PAULO